※令和４年度以降入学生用

学校番号	203

令和８年度　音楽科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	Joy of Music（教育芸術社）						
副教材等	歌のミュージックランド（教育芸術社）自主制作プリント　合唱楽譜等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

発表を大きな目標として、歌唱、器楽、創作を通して音楽を創り上げる喜びを共感しましょう。またこれまで学習してきた音楽活動を生かし、それぞれの個性をさらに伸ばしてください。
また、新しい表現方法についても探っていきたいと思います。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深くかかわる資質・能力を次の通り育成することを目指す。
⑴　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
⑵　音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現に創意工夫したり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
⑶　主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・音楽の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解するとともに、意図に応じて創意工夫した表現をするための技能を身につけ、歌唱や器楽、創作で個性豊かに表現している。	・音楽のよさや美しさを感受し、表現の意図創造的な工夫などについて考え、価値意識をもって、音楽文化に対する見方や感じ方を深められている。	・主体的・協働的に芸術の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を深め、文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していこうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	自分の声を磨く	【歌唱】 発声法・呼吸法 日本、外国の楽曲	a:【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。【技】曲にふさわしい発声、姿勢や呼吸など、身体使う技能、言葉の特性を意識して歌う方法を身に付け、個性豊かに歌唱で表現している。 b:自分の声、楽曲のリズムや旋律を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感じ取り、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性に関心を持ち、主体的･協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 ワークシート
	コード理論と創作	【器楽・創作】 童謡に適した伴奏を付けよう	a:【知】コードの理論、音の重なりによる響き、コードの種類、音型や構成上の特徴について理解し、創作ができている。【技】曲想にふさわしい伴奏形を創作し、それによって生み出される表現上の効果を生かして演奏する技術を身に付けている。 b:歌詞やメロディとの関わりよって生み出される表現上の効果を工夫している。 c:伴奏付けに関心を持ち、主体的･協働的に活動に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 振り返り レポート

※令和４年度以降入学生用

2 ・ 3	器楽合奏	【器楽】 ピアノ連弾 ・鍵盤楽器の基礎練習 ・習熟度にあった選曲とペアの決定	a:【知】ピアノの基本的な奏法と音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方の技法を身につけている。 b:演奏に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージを持って演奏を創意工夫している。 c:鍵盤楽器の音色と奏法に興味関心を持ち、主体的・協働的に弦楽器の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 振り返り レポート
	自由発表	【歌唱・器楽・鑑賞】 様々な形態による発表会 ・演奏内容の設定 ・計画 ・練習 ・リハーサル ・振り返り	a:【知】自分にふさわしい表現方法について理解している。 【技】自分が表現したいと思う字歌唱または楽器の奏法を身につけている。 b:演奏の形態や組み合わせによる音色や特徴を生かし、自己のイメージを持って演奏を創意工夫している。楽器の役割やパートによる音の重なり方、演奏者による表現を味わって聴いている。 c: 他人の演奏にも興味を持ち、発表の段取りと鑑賞にむけて主体的、協働的に取り組んでいる。	観察 ワークシート 演奏発表	演奏発表 振り返り レポート	観察 振り返り レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度